

令和五年

能 泉 涌 流 多 喜

第九十七回

令和五年四月八日(土) 一時始

仕舞 老松 高林 呻二

一曲独吟 忠度 高林 白牛口二

卷 絹 高林 昌司

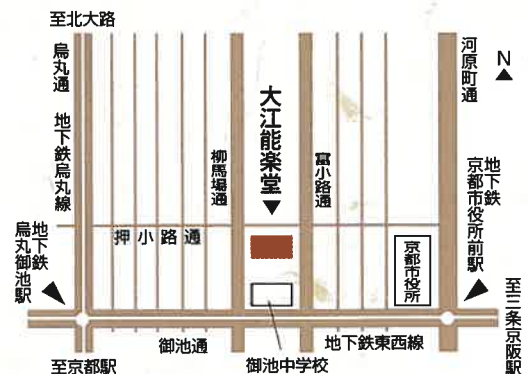
主催 高吟会

大江能楽堂

京都市中京区押小路通柳馬場東入ル 電話 075-231-7620

入場料 前売 7,000円 学生券 3,000円
当日 8,000円 全席自由席

問合せ 〒603-8354 京都市北区等持院西町15 高吟会
電話075-462-1490 FAX.075-463-3494
E-mail koginkai@ares.eonet.ne.jp
URL <http://www.eonet.ne.jp/~koginkai/>



地下鉄「烏丸御池」または「京都市役所前」下車。徒歩約10分。

動静以天地
視哉涌泉美
鈿之翁

涌泉能番組

仕舞 老松 高林呻二

一曲独吟 忠度 高林白牛口二

休憩二十分

巻 絹 高林昌司 江崎 欽次朗

狩野祐一 河村 凜太郎 中田 一葉
曾和 鼓堂 森田 保美

附祝言

能と付き合っ て想う事

高林白牛口二

能は演劇の一種ですが、一般演劇とは随分隔たりがあります。隔たりの第一は「翁」の存在です。しかしこの「翁」を別格扱いとしても、まだ隔たりは存在します。

例えば、人間的な個人の人間像を現すことが、否定されているように感じます。私はこの能の持つ特異性に惹かれて、能を舞ってききました。其の中でも特に強く感じる事は、人間の本能的な感情を封じ込める事です。

能の中には、大人の男女の恋愛感情を、現在物として取り上げた曲が多く存在します。私はそれらの曲に対して、特別な感情を持って付き合っ て来ました。能の舞台は、現代の感情に従って演技をしていては、能の世界から逸脱すると思つています。能面に特別な働きや表情を生かす為には、精神的な力量が重要な役割を必要とします。如何にして無表情の能面に表情を持たせるかの力量が、能の世界に生きて行く為には、必須条件です。

男女の恋愛的感情も、老人の老いばれた表現も、いずれも表面的には必要な存在ですが、それを表に出す事を越えた、内面の充実さが、必要であると思つています。何故このような「モノ」が必要なのでしょう。能の創成期からそのようであったとは考えられません。長い年月を経る間に、先人達の知恵の結晶によつて、この様になつたと思います。

昨今は色々な考え方が罷り通り、古来からの伝承も自由に変える事に、抵抗を感じなくなる傾向が、多々見受けられます。この傾向が進みすぎると、伝統とは何かと言う事になります。現代社会に迎合するために、改変の度が過ぎると、伝統の存在が危うくなつてしまいます。

次回予告

高林白牛口二 八十八歳
高林呻二 還 暦 記念

令和五年十一月十一日(土) 於 大江能楽堂

求 塚 高林呻二
猩々乱 高林昌司

主催 高吟会

許可なく写真撮影録音録画は、堅くお断り致します。携帯電話 ポケットベル 時計のアラームは、予めお切り下さい。